



# 水産加工関連事業者の方に無料で専門家を派遣し、集中的かつ継続的な支援を行います

近年の漁獲量の減少や新型コロナウイルス感染症の影響を受ける道内の水産加工関連事業者が抱える様々な経営課題（生産性向上、商品開発、働き方改革、衛生管理、BCP（事業継続計画）策定等）の解決に向けた取組を支援するため、専門家を無料で派遣し、集中的かつ継続的な支援を行います。

経営課題の解決に取り組みたい道内水産加工関連事業者の方は、ぜひご相談ください。

## ○支援対象者

次の各要件に合致する道内の中小企業者が対象となります。

- 道内に主たる事業所を有する中小企業支援法第2条（※中小企業者の定義）に該当する中小企業者等であること
- 水産品の加工、保管、輸送、販売および水産品の加工、保管、輸送、販売に要する機械設備、容器等の製造、販売（取付工事等を含む）等を行う事業者であること
- 新型コロナウイルス感染症の影響を受けている事業者であること

## ○専門家派遣回数（目安）

- 生産現場改善指導や HACCP 導入指導等……………10 回以内
- 上記以外の経営課題を解決するための指導……………5 回以内

※昨年度（水産加工関連事業者生産性向上緊急対策事業）に続き派遣する場合は、フォローアップ支援として、原則 3 回を上限とします。

## ○派遣費用

無 料

## ○募集期間

令和 4 年 4 月 11 日（月）～令和 5 年 1 月 31 日（火）

※募集期間を変更する場合があります。また、応募が定数に達した場合は募集を終了します。

## 個別支援の例

課題	支援内容	専門家
経営革新（業態変化）や新事業	主要魚種に代わる魚種による新商品について、試験研究機関と連携し、製品化に向けたデザインや販売先のアドバイスなどを通じて、販売に至った。	フードコーディネーター、デザイナー、バイヤー
先端設備導入	11人で500袋/hの生産体制が、充填機の導入により充填包装ラインの改善を図り、3人で1,100袋/hの生産体制となり、生産効率を大幅に向上。	技術士等
社内研修への講師派遣	専門家が加工場の従業員向けに研修を行い、作業者目線での説明や作業の短縮時間を数字で示すことにより、従業員の理解が深まり改善の取組が進展。	中小企業診断士 社会保険労務士等
生産性向上	専門家がストップウォッチを持って工場に入り、モノの流れや人の動きを観察し、「ムリ・ムダ・ムラ」の解消により、時間外労働の大幅な削減を実現。	生産管理コンサルタント 中小企業診断士等
IT活用	事務処理が非効率であることから、顧客データや入力データの一元管理についてアドバイスし、経費削減による収益力アップに繋げる。	ITコーディネータ等
経営改善、事業再生	経営の悪化により将来に不安を抱えていたが、財務状況や経営状況の分析を踏まえた経営指導や金融機関等との調整を通じて、経営改善や事業再生を実現。	中小企業診断士等
知的資産経営	急激に変化する経営環境に対応していくため、今後の進むべき方向性を定めるべく、自社の強みや独自性を見える化し、知的資産を抽出して経営指針を策定。	中小企業診断士等
人手不足	従業員の高齢化や、過疎化により人材確保が難しい状況であることから、外国人材の受け入れを検討し、申請手続きなどについてアドバイス。	社会保険労務士等

## 過去の支援事例

### 事例1 HACCP 導入支援

支援対象企業 株山中海産店（様似町）

#### （抱えていた課題）

販路開拓を進めていく上で衛生管理の強化が必要になっていたとともに、HACCP義務化への対応に迫られていた。

#### （支援内容）

衛生管理を専門とするコンサルタントを計8回派遣（約7ヵ月間）。編成されたプロジェクトチーム（HACCPチーム）に対して、現場改善指導及びHACCP7原則12手順に沿った導入支援を行った。

#### （支援の結果）

専門家の指導により、JFS-B規格チェックリストにおける要求項目において高い達成率を記録。JFS-B規格の適合証明書の取得に至った。



### 事例2 商品開発支援

支援対象企業 (有)マルナカ中村水産（泊村）

#### （抱えていた課題）

マダラを加工した冷凍対応の新商品の珍味を開発することで、安定的に仕事が増え、経営改善に繋がると考えていたが、開発するためのノウハウを持っていなかった。

#### （支援内容）

大手流通業で商品・営業企画などに従事していた食品関連の専門家を計5回派遣（約5ヵ月間）。マダラの加工工程を整理し、生産工程表を作成して生産効率を高めるとともに、販路展開や商品の包装形態などについても助言を行なった。

#### （支援の結果）

専門家の指導のもとで、商品化することができた。新商品「一夜干したら」は、ふるさと納税返礼品として取扱いが予定されている。また、デザイン・パッケージの重要性についても助言を受け、今後の商品開発の参考になっている。



### 事例3 経営ビジョンの検討支援

支援企業 井原水産(株)札幌支社（小樽市）

#### （抱えていた課題）

市場縮小に対する危機意識を背景として、新たな取組を打ち出すために、CSR（企業の社会的責任）の取組、とりわけ経営の中にSDGs（持続可能な開発目標）の視点を組み込み、企業価値の向上、ビジネスチャンスの創出を図りたいと考えていた。

#### （支援内容）

ビジネスコンサルタント（中小企業診断士）を計3回派遣（約3ヵ月間）。専門家がファシリテーターとなり、役員、幹部社員、若手社員が参加するワークショップ形式で、当社の歴史や経営理念、将来ビジョン、SDGsと当社事業との関連性や取り組む意義などについてディスカッションを行った。

#### （支援の結果）

企業経営とSDGsとの調和について真剣に話し合ったことで、10年後に向けて取り組むべき方向性を認識・共有化できた。今後は、SDGsの取組を社内に広げていくとともに、SDGsの視点を具体的に経営戦略に組み込んでいく考えである。

